

INTERVIEW File 08

Backstage of the top consultant

Akiko Sodeyama



撮影協力：六本木 Angero <http://www.angelo2007.com/index.html>

「エンジニアが必要なときに、アイム・ファクトリーの仕事を思い出していただければ成功だと思っています」

候補者の可能性を広げる
「袖山マジック」

「エンジニア特化型の人材会社「アイム・ファクトリー」の取締役であり、コンサルタントとしても活躍中の女性・袖山亜希子。その最もたるスキルは、何と聞いてもマッチング力。「見、お互いの希望に沿わないような企業と候補者をマッチングさせたのにも関わらず、結果的に双方とも満足してしまう」というマジックを何度も生み出してきた。「エンジニアの方は自分の技術に誇りを持っている方がたくさんいる半面、アビリティ下手な方が多く今までの経験を客観的に伝える事に慣れていません。せっかく興味で様々な開発をしているのにそれを伝え忘れてしまう、などなど。そこを上手にフォローしながら、そんな技術者としての可能性を企業に明確に伝えることが上手な会社だと思います」
「背筋をすっと伸ばした姿勢を崩さず、袖山は穏やかな笑みを称えて話す。
「例えば、御社が求めるレベルには少々達していませんが、人柄や性格が御社の風土にとても合っているエンジニアがいます。また上昇志向もあり、他のエン

Interview file.08

トップを走り続ける秘密はマジックのようなマッチング。

オフィスを離れ、インタビューは六本木のバーで行われた。このコーナー開始以来初の女性コンサルタントの登場ということもあり、袖山亜希子は見事なまでに誌面に彩りを与えてくれ、かつトップコンサルタントとしての方法論も惜しげもなく語ってくれた。



アイム・ファクトリー株式会社
取締役

袖山亜希子

Akiko Sodeyama

「エンジニアの方のスキルを図るときもそうです。こんなことが得意、こんなことを何年してきた」という求人票のデータも重要ですが、それだけで全てを判断して、企業に紹介するのは良くないと思っています。ただの御用聞きになってしまえば、エンジニア特化でやっている意味がないですよ。求人票や経歴書からは見えない部分を知り、エンジニアとしての可能性が広がるようなご提案を企業にすべきたと思います」
その口調は丁寧だが力強い。エンジニア特化型の紹介コンサルタントとしての使命とプライドが滲み出ているようだった。

「お金をいただいて人材紹介をする」ということ
袖山の人材業のキャリアは、エンジニアの業務支援を行っているベンチャー企業から始まった。当時はいわゆる「Eハルの真ん中で常にエンジニアが不足している状況」正社員よりも高収入が望めるフリーでのエンジニアも数多くおり、袖山は彼らにプロジェクトを紹介するという業務を行っていた。
元々IT業界のことはまるで分からなかったという袖山だが、業務を通してエンジニアに特化した人材コンサルタントとしてのスキルを身に付けていく。また同時期は人材業界が注目され始めた時期でもあり、人材を提供すればとにかく採用してもらえ、候補者の応募も絶えないという「Eハル」のような状態が続くが、袖山は同時にある程度「Eハル」も感じられるようになっていた。
「人手が足りない企業にただ人材を紹介するという仕組みは、そもそも人材紹介の意義ではないと感じるようになっていきました。だったら企業はお金をかけてまで人材紹介に依頼しなくても、媒体を利用するだけでも良いのではないかと色々な疑問を感じていました」



アイム・ファクトリー株式会社
 2008年7月設立。「エンジニア」をキーワードにソリューションを展開する人材会社。人材を「人財」と考え、企業にとっては技術開発のベストパートナー、人材にとっては信頼できる生涯のコンサルタントとして、意志を持って最高の出会いを創出。企業の創造、成長、変革をよりスピーディに成し遂げるための人材採用と定着をトータルにサポートしている。
 本社所在地 〒102-0084 東京都千代田区二番町3番地11 パシフィックスクエア麹町4F
 TEL03-6913-6434 FAX03-3263-6455 http://www.aim-factory.com/

袖山亜希子の
 仕事を支える
 ビジネスアイテム



手帳とは別に持っているメモ書き専用ノート。客先やキャンディイトとの打ち合わせ、会議の際などに使用。備忘録はアナログ派!



全社員iPhoneを持ち、スケジュール管理から面接設定まで24h対応可能。電話&メールはいつでもOK! 今や手放せないアイテムに。



仕事の合間のリフレッシュ! ギュッとつかんで首筋の疲れやコリもスッキリ解消。これで、もうひと頑張りできます!



会社のロゴにも使用されている象を気に入ら集めていたとのこと。ロゴの意味が知りたい方は、HPをチェック!



社内でゼロテープが欲しいと依頼したら、アスクルからこの象が届いたとのこと。結果、お気に入りアイテムに仲間入り。



エンジニアの方と話がはずみ、なんと未読シリアルズまでいただいたという逸話も... ツイッターでつぶやくほど、今も尚、ハマっている必需品。

「面接でお話をしているときのインスピレーションも一つの基準ですが、その後のやり取りでも見えてくるのがたくさんあります。例えばですが、候補者の方に職務経歴書などの書類を送ってもらおうと依頼することがあるのですが、ここですぐ行動してくださる方は企業に自信をもって紹介できますね。逆に受け答えが良くても、後回しにされる方はちょっと... という場合が多いです。やはり技術者なので、納期までにきっちり仕上げられるスタンスを持っている人こそ、企業に紹介したいですね」

人の性格やクセは日頃の何気ない行動に表れるというが、袖山はそれを見逃さない。女性ならではの繊細な視点や直感力、ぜひ男性コンサルタントも身に付けたいところだ。

エンジニアの需要がなくなることはない

多忙ゆえに平日はなかなか時間を取る事ができず、息抜きといえどもたまに社内のメンバーや現場のエンジニアと好きなお酒を飲んで帰るくらい。既婚者の彼女は、週末は家族でのんびりと過ごしているのかと思いきや、「一日中家でゴロゴロしていることはありません。ゴルフや旅行や犬の散歩が好きなので、とにかく外に出たい! 予定がなければ友達に連絡をして予定を入れて、必ず出かけるようにしていますね」とアクティブに活動しつづけているという。休養はどこで取っているのかと少々心配になってしまいが、こうして楽しみ続けることこ

そが彼女にとって何よりの休養なのかもしれない。

今年が3年目となるアイム・ファクトリーも着々と成長中だ。リーマンショック後にはエンジニアの需要が激減したが、システムは世の中からなくならないし、エンジニアの需要がなくならない。エンジニア特化と掲げている以上、エンジニアの紹介をメインで行っていくことが最大の強みになると語り、繊細さと同時に「本気も持ち合わせていることを覗かせた袖山。最後に今後の展望について伺った。

「エンジニアが必要なときに、まずアイム・ファクトリーのことを思い出していただければ成功だと思っていますね。正社員や案件ベースの支援、自社のプロパーの派遣など、お客様からエンジニア人材が欲しいというときに人材的な支援ができるスタンスをとって行きたいです」

心配は無用。マジックのように絶妙なマッチングをしてみらった際には、企業もエンジニアもアイム・ファクトリーという社名と、袖山亜希子というコンサルタントの名を決して忘れな

「人事の方とリレーションを取って、企業とエンジニアの橋渡しをしよう。同じエンジニアでも、経歴書だけでは分からない色々なポテンシャルを持った方がたくさんいますし、そういうプラスアルファの部分で人材をご提案できこそ、エンジニアの可能性が広がると思っています。それがお金をいただいて人材紹介をするということなのだと考えています」

短時間で候補者の性格を知る方法

現在もトップコンサルタントとして活躍中の袖山だが、忘れられないほろ苦い思い出があるという。

「弊社にずっと信頼を寄せてくれていた候補者がいまして、紹介先を探していたのですが、なかなか通らない。そんなとき、他の紹介会社から紹介された企業で決まりました」と連絡をもらったのですが聞いてみたらなんと私も担当している企業だったのです。かなり衝撃でした。私は勝手にその方が志望すると思わず、そして通過する企業だと思わなくて省いていたのです。後で思うと、私の方で先人観を持ってこの人の為だというおせっかいな意識でその方の可能性を狭めていたのです。社長にもよく言われるのですが、我々は常にニユーtralな感覚を持ち続けてなくてはならないのです。ですから、私の担当企業ではありませんが別の紹介会社経由で決まったという事は私にとって非常に良い経験でしたね」

もちろん他社で決まったのもすこく良いこと。候補者のことを第一に考えているからこそ出る発言だ。この一件で袖山は、エンジニアの可能性を広げたいという基本理念を改めて振り返ったという。

「できるだけ候補者に合った企業に紹介できるよう努力をします。けれど逆に候補者の御用

聞きになって、上場企業以外は働きたくないとか、1000人以上の会社以外には行きたくないとか、そういう希望を聞くだけ聞いて紹介するのもまた違うと思う。なのでこちらからも合意する企業を提案し、可能性を広げてあげるのもまた私達の役目なのです。現在そういうことができていないのは、失敗した経験があったからだと思います

「面接でお話をしているときのインスピレーションも一つの基準ですが、その後のやり取りでも見えてくるのがたくさんあります。例えばですが、候補者の方に職務経歴書などの書類を送ってもらおうと依頼することがあるのですが、ここですぐ行動してくださる方は企業に自信をもって紹介できますね。逆に受け答えが良くても、後回しに



Akiko Sodeyama

袖山亜希子(そでやまあきこ)
 アイム・ファクトリー株式会社 取締役
 モバイルコンテンツ企業にて、ITエンジニア特化型の人材ビジネスに立ち上げメンバーとして参加。その後上場を経験しITエンジニア専門の中途採用支援・エンジニア支援サービスのアイム・ファクトリーを久利(現・同社代表)と共に立ち上げる。IT業界のレイヤー層を理解し、ネット業界、モバイル業界に強いキャリアアドバイザーとしての評価が高い。